

## 令和5年度 上津役小学校のメンタリング（主題研究）

### 1 目的

教職員の研修の質を向上させながら、働き方改革の促進のためにメンタリングを中心とした研修方法を実践する。

### 2 行い方

- 毎週水曜日を職員研修日とする。
- 1学期は学年でメンタリングチームを作り、学年間で授業メンタリングや学級経営についてのメンタリングを行う。（メンタリングシートは使わなくてもよい）
- 2学期からはメンタリングチームを作り、全職員がメンタリングシートを利用した年1回以上の授業メンタリング、及び学級経営メンタリングを行う。
- ベテランの授業研の場合は、メンティーが校長か教頭をメンターに指名して行う。
- 原則、指導案の作成はしない。

### 3 メンタリングチーム（1学期）

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
リーダー (学年主任)	学年主任	学年主任	学年主任	学年主任	学年主任	学年主任

### メンタリングチーム（2学期）

リーダー (10年次以上)	A	B	C	D	E
若年 (1～3年次)	主に若年の教師	主に若年の教師	主に若年の教師	主に若年の教師	主に若年の教師
ミドル (4～10年次)	主に10年目までの教師	主に10年目までの教師	主に10年目までの教師	主に10年目までの教師	主に10年目までの教師
ベテラン (11年～)	主に10年以上の経験を持つ教師	主に10年以上の経験を持つ教師	主に10年以上の経験を持つ教師	主に10年以上の経験を持つ教師	主に10年以上の経験を持つ教師

上津役小学校メンタリング（学級経営等）

第

回目

打合せ日（令和 年 月 日 曜日）

メンター（ ） メンティ（ ）

内容

生徒指導

学級経営

その他（ ）

日々の学級経営で悩んでいることやわからないこと

メンターから

年 組 授業者 ( ) 参観者 ( )	
メンター ( ) メンティー ( )	
授業実践日・場所	月 日 ( ) 校時 於 ( )
教科「単元・主題・題材名」・本時	( / )
<主眼>	
本時特に高めたい項目	
項目番号	課題選択シートの項目から2つ程度選択し、具体化・焦点化する。
授業を終えての「振り返り」と「次回に向けて」	
参観者から	

## 上津役小 メンタリングシート（授業実践）

5年 2組 授業者（教務） 参観者（ 情報部 ）	
メンター（ 校長 ）メンティー（ 教務 ）	
授業実践日・場所	5月24日（水） 4校時 於（ 5の2教室）
教科「単元・主題・題材名」・本時	理科「植物の発芽と成長」発芽の条件 発芽に空気が必要か（ 3 / 4 ）
<p>&lt;主眼&gt; 植物の発芽と成長は、空気が必要であるということを考えることができるようにする。</p>	
本時特に高めたい項目	ICTのポジショニング機能を活用し、考えを広げる話し合いを行う。
項目番号	課題選択シートの項目から2つ程度選択し、具体化・焦点化する。
⑧	子どもの課題意識を誘発する教具、学習材、資料を開発する。
⑩	子どもの課題意識を誘発する活動を設定できる。
授業を終えての「振り返り」と「次回に向けて」	
<p>理科の学習としてはもう少し内容に深く踏み込めたらよかったと思う。学習中のICTの利用はスムーズに行われ、写真取り込み、ポジショニングの意見の書き込みなど、子どもたちのリテラシーの高さに驚かされた。先生方が「子どもの役」となって模擬授業などの研修を行うことで、学習中のICTのさらなる活用につながると考える。</p>	
参観者から	
<p>・個別最適な学びだけでなく、「協動的な学び」を、ICTを活用して実践しようとした、価値ある試みであった。特にポジショニングなどの機能を用いて、それぞれの考えを可視化した取り組みは、子どもが考えたくなる状況を作るうえで大変有効であった。子どもたちに日常的にタブレット端末に触れさせた、成果が出た。</p> <p>・子どもたちが、すんなりとタブレットを活用していたことに驚いた。みんなの意見を聞いたり、議論のきっかけになるところはメリットだが、子どもたちのノートに記録が残らないことが課題である。</p>	